

犯罪被害者支援委員会 10周年記念シンポジウム

「日弁連の犯罪被害者支援 10年間の歩みと今後の課題」

愛知県弁護士会 粕谷 誠（日弁連犯罪被害者支援委員会事務局委員）

2010年3月24日午後3時より、東京の弁護士会館において、標記が開催されました。シンポジウムは村田智子会員（東京弁護士会）による総合司会のもと、パネルディスカッション2部構成により催されました。

パネルディスカッション第1部「この10年間を振り返って」では、歴代の全委員長が登壇し、パネリストとして児玉公男会員（第一東京弁護士会・委員長在任期間2000年～2001年）、高原勝哉会員（岡山弁護士会・委員長在任期間2001年～2005年）、高井康行会員（第一東京弁護士会・委員長在任期間2005年～2007年）、コーディネーターとして佐藤正明会員（仙台弁護士会・委員長在任期間2007年～2009年）、番敦子会員（第二東京弁護士会・委員長在任期間2009年～現在）より、当委員会の歴史について含蓄に富んだお話が披露されました。また、今後の課題を含めて、これからの委員会に期待する活動についても活発な意見交換が行われました。

パネルディスカッション第2部「犯罪被害者支援に関する今後の課題」では、パネリストとして河原理子氏（朝日新聞編集委員）が参加されたほか、当委員会よりパネリストとして望月晶子会員（東京弁護士会）、川上賢正会員（福井弁護士会）、佐藤健宗会員（兵庫県弁護士会）、コーディネーターとして武内大徳会員（横浜弁護士会）が登壇し、犯罪被害者支援に関する今後の課題について活発な意見交換が行われました。

シンポジウムでは、今後の課題として、被害者参加制度や裁判員裁判の問題点、性暴力被害者に対する支援の充実、犯罪被害者に対するワンストップサービスの実現、未検挙事件被害者に対する支援の充実など様々な事項が挙げられましたが、この10年間で犯罪被害者を取り巻く環境が劇的に変化したことを思えば、いずれも実現不可能な課題であるとは感じられませんでした。

当委員会にとって10年の節目となる今回のシンポジウムにより、今後さらなる犯罪被害者支援の充実に向けて取り組んでいく決意を新たにすることができたものと思います。